

この日本、ああ、悩ましい

EToS

江戸東京研究センター  
EAST UNIVERSITY RESEARCH CENTER FOR  
Edo-Tokyo Studies

日本はこれからどこに向かうのか。  
東京はどんな未来を拓いていけるのか。  
日本の来し方と行く末をとことん突き合わせた  
『日本問答』(岩波新書の田中優子と松岡正剛が、  
江戸の見方と日本の方法を再び交差させて、  
悩ましくも大胆な問答をふっかける！



『日本問答』田中優子・松岡正剛  
岩波新書 2017年11月発行

江戸東京研究センター特別対談企画

# 日本問答・江戸問答

【出演】

田中優子

〔法政大学総長〕

松岡正剛

〔編集工学研究所所長〕

【コーディネーター】

陣内秀信

〔法政大学デザイン工学部教授、江戸東京研究センター初代所長〕

主催●法政大学江戸東京研究センター 後援●岩波書店 編集工学研究所

2018年  
4月21日(土)

14:00~17:00(開場13:00)

参加費:無料

法政大学  
市ヶ谷キャンパス  
外濠校舎6F  
薩埵ホール

東京都千代田区富士見2-17-1





法政大学の江戸文化研究の歴史は長

く、戦前から戦後にかけては近藤忠義が、その後は廣末保、松田修が担ってきました。1980年代には陣内秀信

が「江戸東京学」を提唱し、田中優子の江戸学が始まりました。

2017年度に、法政大学エコ地域デザイン研究センターと国際日本学研究所の連携による「江戸東京研究」が文科省の「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、江戸東京研究センターが発足しました。

このたび、江戸東京研究センターの2018年度幕開け企画として「日本問答・江戸問答」を開催します。松岡正剛・田中優子「日本問答（岩波新書）」は日本の文化、思想、政治、社会に見える方法、しくみ、理念について語り合った対談です。この対談の背後には、日本がこれからたどる道への危機感があります。ここで語られた日本の方法は、江戸時代ではどのように使われたのか、江戸という都市が東京になる時代には、この方法はどうか変質したのか、そして今の私たちに必要な考え方は何か等々、都市づくりも含め、リアル「江戸対談」を躍動させます。

田中優子（法政大学総長）

# 日本問答・江戸問答

江戸東京研究センター特別対談企画

## 田中優子 Yuko Tanaka

法政大学社会学部教授、国際日本学インスティテュート(大学院)教授。2012年度より社会学部長。2014年度より法政大学総長。専門は日本近世文化・アジア比較文化。研究領域は、江戸時代の文学、美術、生活文化。『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞、『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー学芸賞。その他著書多数。2005年度紫綬褒章。江戸時代の価値観、視点、持続可能社会のシステムから、現代の問題に言及することも多い。



## 松岡正剛 Seigow Matsuoka

工作舎、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授などを経て、現在、編集工学研究所所長、イニス編集学校校長。情報文化と情報技術をつなぐ研究開発、編集の世界観にもとづく日本文化研究などに従事。おもな著書は『知の編集工学』『ルナティックス』『フラジャイル』『17歳のための世界と日本の見方』『国家と「私」の行方』『日本という方法』『擬一「世」あるいは別様の可能性』ほか多数。2000年よりインターネット上でブックナビゲーションサイト「千夜千冊」を連載中。

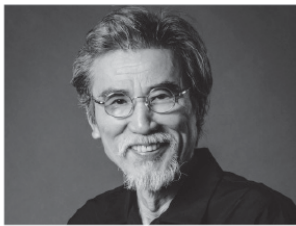
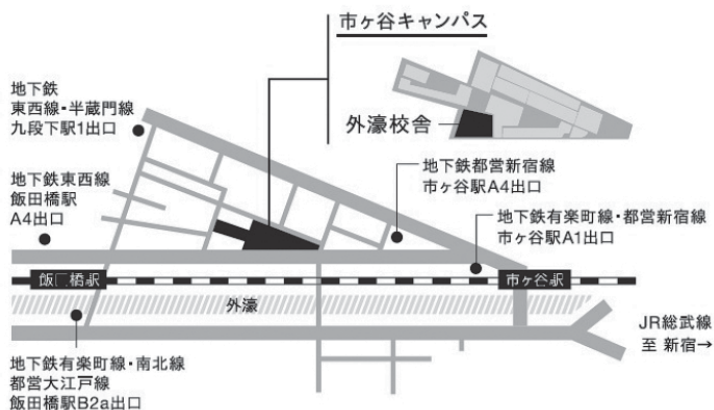


Photo: Tomokazu Sasaki

## コーディネーター 陣内秀信 Hidenobu Jinnai

法政大学デザイン工学部教授、江戸東京研究センター初代所長。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学、ユネスコのローマ・センターで研修。専門はイタリア建築史・都市史。建築史学会会長、地中海学会会長、都市史学会会長を歴任。中央区郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長ほか。おもな著書は『東京の空間人類学』（サントリー学芸賞）『ヴェネツィア—水上の迷宮都市』『水都ヴェネツィア』ほか多数。



【JR線】総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分【地下鉄線】都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩10分【地下鉄線】東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分【地下鉄線】東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩10分【地下鉄線】東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分【地下鉄線】都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩10分

## 参加申し込み方法

3月1日から申し込みを受け付けいたします。①PC・スマートフォンから、または②携帯電話から、下記URLの申込専用フォームによってお申込みください。

### ①PC



<https://www.event-u.jp/fm/10870>

### ②携帯



<https://www.event-u.jp/fm/m10870>

問い合わせ先

法政大学江戸東京研究センター事務局

E-mail [edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp](mailto:edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp)

TEL: 03-3264-9682